

来年の自分をイメージしよう

……1年の計は元旦にあり、いろいろ考えてみよう

来年の自分をイメージする

令和5年がまもなく終わろうとしています。コロナ禍も明け、学校生活も徐々に元に帰り、我々もほっとしています。皆さんはどうだったでしょうか。高校生活も振り返り点を過ぎました。もう高校3年生が目の前に迫ってきています。高校入学の時に思い描いた、また高校2年生になったときに新たに描いた高校生活は、今のところ順調にいらいますか。大きな予定変更を余儀なくされた人もいらっしゃるでしょうし、そもそも最初から何のイメージも持たないまま高校生活を送っている人もいらっしゃるでしょう。高校2年の12月は、入学してからの自分の高校生活を振り返るのに最良の時期です。振り返り、考え、そして3年生になった自分をイメージする。自分の思いどおりにいかなくとも、最初にイメージを持っている人は強いです。その場その場をしのぐ生活ではなく、自分がこうしたいという強いイメージを持って生活することが大切です。軌道修正しながらも持ち続けたそのイメージは、最終的に将来の夢へとつながっていきます。

冬季休業中の過ごし方は

①冬休みは、学習面の「勝負どころ」、やるべきことを掲げてこなすなかで長時間机に向かっても苦でないリズムを体で覚えよう

2年生の冬休みは、学習の「勝負どころ」です。秋の実力テストから理科、社会が入ってきて、今まで以上に頑張らなければならなくなっていますが、現実にはまだそこまで達していない者も多いし、個々がそれぞれ課題となる教科を抱えている状態です。定期試験はできるのに模試ができないという者も、その逆の者もいっぱいいます。どちらが将来の入試に近いかといえば「模試」ですが、受験勉強が、こつこつと学校を大切に予復習の延長にあるならば、定期試験で頑張れる者が伸びてくるとしても間違いではありません。どちらの場合も学習法に改善が求められています。ですから勝負どころは次のところ

- ・まず受験科目を確定させる。
- ・定期試験や模試の反省をふまえて、課題のある教科について、予復習や宿題以外にやるべきこと(=受験勉強)を掲げ、こなす。
- ・特に5教科のバランスを考え、学習法を改善する。
- ・長時間机に向かっても苦でないリズムを体で覚える。

②家族行事に目を向け、家の手伝いや親戚との話など、冬休みにこそできることをやろう

近頃「子供に家庭での役割分担がない」などよく言われます。しかし、冬休みには、家の大掃除や正月を迎える準備、買い物や、初詣、親戚へのご挨拶など、「家族」が単位となるものがたくさんあります。ふだんは家の中でわがままを聞いてもらっている人も、できるかぎり家族行事に参加しよう。また、一度じっくりと家族会議を開いて、進路のことや将来のことを話してみてください。そのことによって自分の目標も明確化しますし、家族の考えを理解すると同時に自分がどう考えているのかを家族に理解してもらうのも大切なことです。進路をかなえるのはみなさん自身ですが、家族の理解なしにはすすめていくことができません。経済的な面や家族の思い、下宿可かどうかなど一致した土俵を確認したいものです。さらに、冬休みは、仕事を持っておられる親戚の方や大学などへいられる年上の方などからいろいろなことを聞くチャンスもあることと思います。積極的に話をしてみましょう。

③一年の計は元旦にあり。大晦日には今年を振り返って新年の決意をしよう

自分は今年一年で、何を学び、どんなところが成長したのだろうか、そしてどこが欠けていたのかを、じっくりと考え、さらに、来たる2024年に自分はどんな人間になりたいのか、どんなことがしたいのかを決意してみてください。できれば紙に書いて机の前に貼ること。目標を持つこと、自分で自分を追い込むことはものすごく大事なことですし、伸びる秘訣でもあります。皆さんも、どの大学に入学するだけでなく、そのためにしなければならぬことは何か、入学後に何がしたいのかなど、じっくり考えてみてください。冬休みは絶好の機会です。

戸田進路部長より特別寄稿

「1年間なんてあっという間です(逆算思考を身につけよう)」

先日の進路講演会でも少し話しましたが、みなさんは2年前のことを覚えているでしょうか？

高校受験や高校への入学を控えて、自分なりに「どんな高校生になりたいか」を思い描いていたのではないかと思います。それから2年間が経って、みなさんは思い描いていた高校生になれていますか？ 2年間で、自分がどれくらい成長したか、実感できていますか？

高校2年生も終わりを迎えて、高校3年生のゼロ学期と呼ばれる時期に突入しました。現高校3年生のみなさんはすでに総合型・学校推薦型選抜を終えた人も多く、嬉しいことに合格者も多く出ています。ということは、例年通りにいけば、みなさんのうちの数十人は、1年後すでに大学受験を経験しているということになります。その心構えはできているでしょうか？

そろそろ実感しているかと思いますが、月日が経つのは思った以上に早いものです。1年間は52週間。みなさんがなんとなく過ごしてしまっているかも知れない週末をあと52回経験すると、1年間が経過します。57回だと、共通テストが終わっています。6教科9科目での受験を考えている人は、1科目につき約6週間です。

しかも、たとえば国語にしても、「論理的文章／文学的文章／実用的文章／古文／漢文」の5分野に分かれ、さらに、覚えるべきことを大まかに言っても、「漢字／慣用句／古文単語／古典文法／和歌の修辞／漢文句法／漢文重要語彙」などいくつも枝分かれしていきます。つまり、9科目を細分化していくと、何十、あるいは何百もの分野や事項があるのです。

もうわかりましたか？ ごく大雑把に言えば、「今週は古文単語を全部覚えた!」「次の週は漢文句法を全部覚えた!」「その次の週は…」と、1週間で何かを習得していき、そのすべてを忘れなかったとしても、共通テストには間に合わない可能性だってあるのです。弱気になって受験科目を減らそうとしても、求められるハードルがさらに上がり、競争相手が強くなって、自分で自分の首を絞めることとなります。この時期の2年生に特徴的なことですが、真剣に受験勉強に向かいあった人ほど、ひどく焦り始めます。どれほど時間が無いか、実感としてわかるからです。

必要なのは、到達点から逆算して、現在の自分の行動を考えること。そして、今までに授業で学んだことのなかで、抜け落ちていたことを点検し、少しずつでも穴を埋めていくことです。そのためには模擬試験が有効です。過去の定期考査を見直してみるのもいいでしょう。大学受験というのは、知識を問われる以上に、みなさんの行動や、大げさに言えば生き方が問われる機会だと思っています。目標を決め、逆算して計画を立てて実行する力は、みなさんの人生を充実したものに、大いに役立ちます。

自分なりにでもよいので、「今」から真剣に受験と向き合ってください。そして、「過去の自分が思い描いていた高校生になっている!」と、胸を張って言える自分でいてください。

※ 裏面に冬期講習日程を載せた

スランプのときは伸びるとき

まずは、「時間活用楽勉術」(学研)の一節を読んでみてください。

1. スランプ歓迎論

平泳ぎでも、ギターでも、勉強でも、あるところまでくるとピタリっと進歩が止まり、そこからなかなかぬけ出せないことがあります。中だるみや伸び悩みといわれるスランプの状態です。こんな状態は、うんざりするもの、とだれも考えがちですが、しかしちょっと待ってください。よく考えると、スランプはむしろ歓迎すべき状態なのです。

2. スランプは方法を変えよ!という指示

ある1つの方法には、必ずその方法で到達できる限界があります。たとえば平泳ぎではどんなにスピードを出そうとしても限界があって、クロールにはかないません。平泳ぎには、スピードに関して限界があるのです。ですから、どんなにあがいてみても、この限界がくると進歩が止まってしまう。これがスランプというわけです。むしろ、それ以前の段階のスランプというものもありますが、それはむしろサボった結果起こるもので、真のスランプではありません。今ではレジェンドといわれ、昔巨人軍におられた王選手がよい例です、あるときスランプにおちいった王選手は、なかなかスランプから抜けられず、厳しい努力の末、コーチの指導で、今までの打法から例の一本足打法に切りかえました。すると、今までの伸び悩みがウソのように、ホームランが飛び出しました。彼は方法を変えることによって、スランプの限界を乗り越えたのです。つまりスランプは、もう今までの方法ではそれ以上伸びません、方法を変えなさいという、信号を出しているのです。もっといえば、「王選手が偉大なのは凄いな数のホームランを打ったからではなく、数々のスランプをすべて努力で乗り越えてきたからである」とさえ言われています。

3. スランプになったら学習法やプランを変えてみよう

スランプになったら、ウンザリして勉強から離れてしまう人がいますが、それではマイナスの効果しか生み出しません。むしろ方法の転換が必要だと教えてくれる貴重な信号なのです。学習法、プランなどを大幅に変えてみることです。たとえば、予習中心学習から復習中心学習へ、夜型プランを朝型プランに切り替える。参考書中心を問題集中心へ、ノートを取るのをやめて教科書書き込み式へ、というように、いろいろな方法の変え方があると思います。思い切って新しい領域の学習をストップさせて、やった範囲の復習に専念したり、あえて学習時間を減らしてみるのも手です。過去にやったことのある領域ならばつかえずにできて自信が回復できたり、時間を減らすことで、短い時間で切り上げなければという緊張感が働いて集中できたりします。もちろん最初は慣れずに少しは混乱が生まれますが、そうした試行錯誤の中に、必ず自分に合ったベターな方法が発見できるでしょう。そのときがスランプにさよならするときなのです。

ぜひ頭にいれてほしい内容だと思います。スランプは今までのやり方はダメという信号だとポジティブにとらえられれば、また局面は変わってきます。

さらにいえば、受験勉強は、小テストと違って、正比例のような学力の伸びは示しません。小テストならば、10個覚えたら10点、20個覚えたら20点とれるわけですが、受験勉強はそのようにはいきません。単語500個覚えても、800個覚えても、骨のある長文は読めませんが、1000個覚えたら、あるときふと、結構な文が読める自分に気付きます。これは逆上がりができない、できないと頑張っていたら、あるときふとできてしまうのと同じ感覚です。言い換えると、伸びていないのではなく、体の中では伸びているのに、その結果が具現化されずに、伸びていないかと思っただけの場合が結構多いのです。この場合だと、やってきた努力を信じて、そのままもうひとがんばりすれば、結果はでます。スランプなのかあとひとがんばりなのか、自分を分析することも大切です。

<冬期講習日程>

令和5年12月5日 進路指導部

2年冬期進学補習

教室掲示

12月21日(木)22日(金)25日(月)【3日間】

2年

| 講座 | 1組 | 2組 | 3組 | 5組 | 4組 | 6組 |
|----------|---------------|-------------------------------------|-------------------------|---|---------------------|--|
| 1限 2限 | 8:40 ~ 10:30 | J4J5合同化学6(坂口) コモンホール | J1日本史(大寺) 302教室 | L3物理21(本田) 303教室 | N12合同日本史47(佐藤) LL教室 | L4生物28(浅見) 304教室 |
| 3限 4限 | 10:40 ~ 12:30 | J2物理23(石橋) 303教室 X生物18(浅見) 222教室 | J28合同世界史10+18(仲村) 301教室 | L5物理21(大曲) 305教室 L15合同化学46(坂本) 221教室 | N12合同日本史47(佐藤) LL教室 | L物理22(米本) 306教室 L2.6合同化学46(坂口) コモンホール |

注:化学は必修、物理・生物は現在専門科目を受講している方の講座を受講します。
一貫物理、文理物理ともプリントを用いた問題演習となります。
注:他は合同になるところはありますが、授業の延長として行われます。